

北海道石狩バイオマス発電事業においてプロジェクトファイナンスを組成しました

株式会社奥村組(本社:大阪市阿倍野区、代表取締役社長:奥村 太加典、以下「奥村組」)の連結子会社で、「石狩バイオマス発電事業」(以下、「本事業」)を行う石狩バイオエナジー合同会社(以下、「本事業会社」)は、2020年2月4日付で、九電みらいエナジー株式会社(本社:福岡市中央区、代表取締役社長:辻 浩平)、および丸の内インフラストラクチャー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:奈尾 真一)とシンエネジー開発株式会社(本社:群馬県沼田市、代表取締役社長:高橋 伸也)が共同で設立した株式会社 New Circle Energy(東京都千代田区、代表取締役:塩谷 惣平)の2社から出資を受け入れることに合意しました。

また、同年2月5日付で本事業会社は、金融機関との間で融資関連契約を締結し、プロジェクトファイナンスを組成しましたことのお知らせします。

本事業は、北海道石狩市において、発電出力 51,500kW の木質専焼バイオマス発電所を建設・運営するもので、2019年10月より石狩湾新港工業団地内(北海道石狩市・小樽市)で建設工事に着手しています。このたび、共同スポンサーとなった2社が保有するエネルギー事業で培われた知見および技術力を活かし、地域の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力をいただきながら、2022年8月の運転開始を目指して邁進していきます。

奥村組は、低炭素社会実現に向けて、今後も再生可能エネルギーを活用した事業を積極的に推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

なお、本事業会社の名称は、2019年11月15日付で「石狩新港新エネルギー発電合同会社」から「石狩バイオエナジー合同会社」に変更しています。

【本事業の概要】

事業主体	石狩バイオエナジー合同会社
代表者	職務執行者 原田 治(奥村組)
発電設備所在地	石狩湾新港工業団地内(北海道石狩市)
出資会社(予定)	奥村組(50%)、九電みらいエナジー(30%)、New Circle Energy(20%:丸の内インフラストラクチャーとシンエネジー開発の共同出資会社)
発電出力	51,500kW
想定年間発電電力量	約 3.6 億 kWh(一般家庭約 12.1 万世帯分に相当)
燃料種別	木質ペレット、PKS(パーム椰子殻)
本工事開始	2019年10月
運転開始予定	2022年8月
ファイナンス	三井住友銀行(リードアレンジャー)、りそな銀行(コ・アレンジャー)、関西みらい銀行が参加するプロジェクトファイナンス

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社奥村組 投資開発事業本部
 新事業開発部長 福知 克美
 〒108-8381 東京都港区芝 5-6-1
 TEL 03-6628-8796(直) FAX 03-5427-8330
 E-mail katumi.fukuti@okumuragumi.jp